

福祉



福祉関連では、「重層的支援体制」の構築に向け、本市独自の「3Rビジョン」（「さんあーる」）として掲げ、取組を推進します。

年々ニーズが増大している、障がいのある児童に寄り添った適正な支援の充実と、福祉サービス事業所等と連携し、障がいへの理解に向け、啓発活動に取り組みます。

また、「障害者等日常生活用具給付事業」の給付対象用具に新たに「発電機」と「蓄電池」を追加し、停電発生時でも安全・安心な日常生活を営める環境を整備します。

経済的に困窮している方への自立支援に向けては、市民に寄り添った包括的な支援を実施します。

また、貧困の連鎖を防ぐ取組として、こども支援員の配置や進学塾を利用した学習支援を実施します。

高齢者福祉については、皆様が住み慣れた地域で、健康かつ生きがいを持って社会参加できるように取組を推進します。

施設 インフラ



「総合体育館」は、市民スポーツの推進、防災機能の強化など、多面的な機能を有する施設として整備し、令和11年度の新総合体育館の供用開始に向けて事業を推進します。

「石川地域まちづくり」は、石川公園の環境整備、石川インターチェンジ周辺は多目的ドームの機能強化として、駐車場整備等の取組を継続します。

「勝連・与那地域まちづくり」には、PFI手法による県内初の公園事業として「勝連城跡周辺整備事業」の契約を昨年締結し、令和10年度のあまわりパーク全体供用開始に向けて、整備工事に着手します。

景観を守るべき地域以外の地域で、「景観計画」における民間建築物の

高さ制限を原則撤廃します。

「具志川火葬場」は、火葬炉の老朽化や高齢化社会の進展による火葬件数の増加に対応するため、必要な規模と機能を備えた新たな火葬場として整備し、令和9年度の新火葬場の供用開始に向けて引き続き事業を推進します。

県内38市町村が加盟する「沖縄県消防指令センター整備事業」は、本市が施設及びシステム整備の主体となり、令和8年度の運用開始に向けて整備を継続します。

「新石川調理場」は、令和8年度供用開始に向けて施設を整備するとともに、災害時でも継続的な給食提供ができるよう民間企業と連携を図り、体制を整備します。

「基地関連」は、引き続き新たな

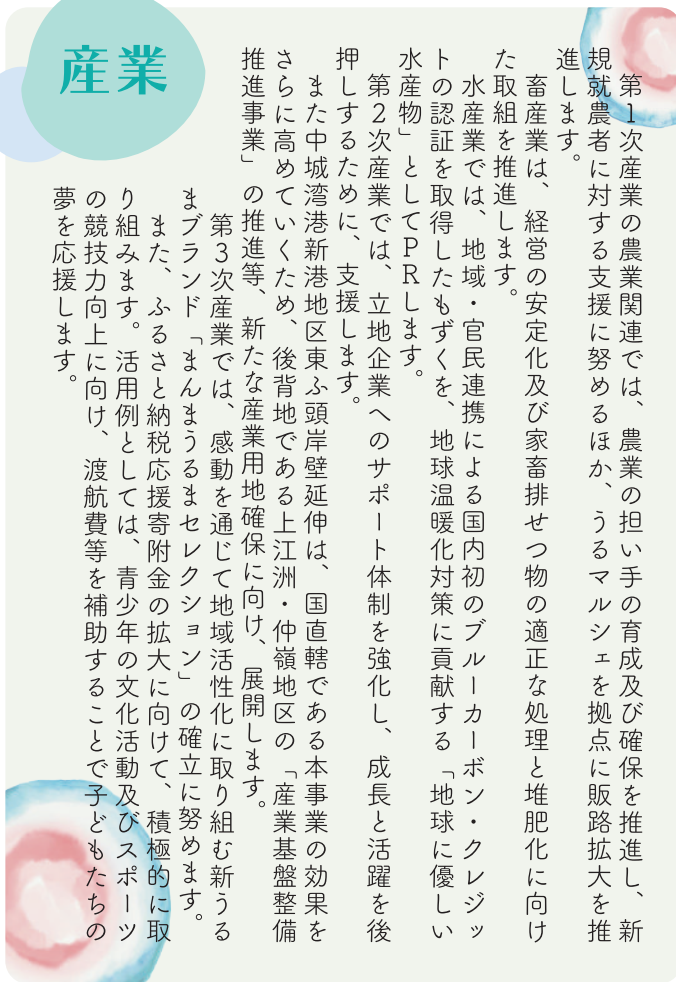
基地負担などが生じないよう関係機関と連携し、整理縮小へ向け、鋭意取り組めます。

沖縄自動車道と海中道路を結ぶ「中部東道路」は、島しょ地域振興、救急搬送時間の短縮など、平常時・災害時を問わない安定的な物流・人流の確保が期待される道路です。

国へ事業化を求める要請活動をはじめ、沖縄市とともに広域連携を図り、早期実現に向けて取り組みます。

また、勝連半島地域の災害時における緊急避難経路や住民の安心・安全を確保するため、防災避難道路である「平安名屋慶名線」の整備や、石川地区における既存市街地と石川インターチェンジを結ぶ「（仮称）石川IC線」の整備に取り組めます。

産業



第1次産業の農業関連では、農業の担い手の育成及び確保を推進し、新規就農者に対する支援に努めるほか、うるマルシェを拠点に販路拡大を推進します。

畜産業は、経営の安定化及び家畜排せつ物の適正な処理と堆肥化に向けた取組を推進します。

水産業では、地域・官民連携による国内初のブルーカーボン・クレジットの認証を取得したもずくを、地球温暖化対策に貢献する「地球に優しい水産物」としてPRします。

第2次産業では、立地企業へのサポート体制を強化し、成長と活躍を後押しするために、支援します。

また中城湾港新港地区東ふ頭岸壁延伸は、国直轄である本事業の効果をさらに高めていくため、後背地である上江洲・仲嶺地区の「産業基盤整備推進事業」の推進等、新たな産業用地確保に向け、展開します。

第3次産業では、感動を通じて地域活性化に取り組む新しいブランド「まんまうるまセレクト」の確立に努めます。

また、ふるさと納税応援寄附金の拡大に向けて、積極的に取り組みます。活用例としては、青少年の文化活動及びスポーツの競技力向上に向け、渡航費等を補助することで子どもたちの夢を応援します。